

IV 地方債の状況

1 県債発行の状況

(単位:億円)

区 分	27年度			26年度 9月現計 (D)	増減 (C)-(D)
	現計予算 (A)	9月補正 (B)	合計 (C)		
建設地方債等①	778	▲9	769	622	147
建設地方債	778	▲9	769	622	147
退職手当債					
臨時財政対策債②	1,440	▲167	1,273	1,740	▲467
計(①+②)	2,218	▲176	2,042	2,362	▲320

- 県債の発行額については、国の算定において臨時財政対策債が大幅に減額となることに加え、香取合同庁舎再整備事業や衛生研究所施設整備事業が工期の見直しにより減額となることなどにより、全体では約176億円の減額となっています。

2 県債残高の状況

(単位:億円)

区 分	24年度	25年度	26年度 (ア)	27年度 (イ)	増減 (イ)-(ア)
建設地方債等①	16,299	15,705	15,216	14,907	▲309
建設地方債	15,306	14,752	14,305	14,038	▲267
退職手当債	993	953	911	869	▲42
臨時財政対策債等②	12,168	13,687	14,997	15,770	773
計(①+②)	28,467	29,392	30,213	30,677	464
(参考)満期一括償還 のための積立金残高	3,166	3,342	3,526	3,735	209

注1 満期一括償還分の積立金残高を控除した実質的な地方債残高

2 臨時財政対策債等：臨時財政対策債、減税補てん債、減収補てん債

3 25年度までは決算額、26年度は決算（見込み）、27年度は9月補正後見込み

- 平成27年度末の県債残高(満期一括償還分の積立金を除く実質残高)は、3兆677億円となる見込みです。
- 平成26年度末と比べると、464億円増加していますが、その要因は、地方交付税の振替である臨時財政対策債の増加です。
- 建設地方債等の残高については、これまで発行の抑制に努めてきたことにより、309億円減少しています。

